



今月の主な内容

- 上湧別学園が開校します
- 地域おこし協力隊 竹内隊員が卒業
- クロスカントリースキー大会

今月の表紙

スケートリンクで人間ダイビング
第55回湧別町スケート大会



上湧別学園が開校します

今年4月に、町内3つ目の義務教育学校となる「上湧別学園」が開校します。

小中連携教育の重要性が増していることや、上湧別地区の小学校の児童数が年々減少していることから、上湧別小学校、中湧別小学校、開盛小学校、富美小学校、そして上湧別中学校の5校を廃止し、新たな義務教育学校を設置することにになりました。

義務教育学校とは小中一貫校の一種で、平成28年に制度化されました。本町でも平成30年に「芭露学園」を町内最初の義務教育学校として開校し、令和5年には「ゆうべつ学園」を2つ目の義務教育学校として開校しています。

新しく開校する上湧別学園により、町内すべての小・中学校が義務教育学校に統一され、小中一貫教育の推進体制が整います。

小中一貫教育とは、小学校と中学校でそれぞれ行われている教育課程を、9年間の一貫した期間で子どもたちの成長や発達に合わせた指導を行うものです。



校舎見学会を開催します

3月20日（木・祝日）
8時30分～16時30分

好きな時間に来場し、自由にご覧ください。

上湧別学園が目指す教育

「ふるさとを愛し、ともに学び高め合う子が育つ学園」を基本理念に掲げ、多様性を尊重して協同しつつ、自分の道をたくましく切り拓くことができる子の育成を目指します。

これまで上湧別地区の小・中学校では、北海道大学と連携した取り組みや、タブレット端末を活用したICT教育の推進を積極的に行ってきた。

今後も9年間の一貫したカリキュラムを通じて、多様な仲間たちとともに学び続ける子どもが育つ学園の創造を目指します。

沿革



上湧別小学校

明治31年12月1日
明治38年12月14日
昭和11年12月26日

昭和22年4月1日
昭和54年12月22日

北湧尋常高等小学校創設
北湧尋常小学校を開設
北湧尋常高等小学校と南湧尋常小学校を統合し、上湧別尋常高等小学校と改称
上湧別小学校と改称
校舎改築移転



中湧別小学校

明治31年12月1日
大正5年7月22日
昭和22年4月1日
昭和23年3月31日
昭和38年3月31日
昭和53年12月17日

北湧尋常高等小学校創設
中湧別尋常小学校と改称
中湧別小学校と改称
旭小学校が独立
旭小学校を廃止し、中湧別小学校と統合
新校舎完成



開盛小学校

大正2年6月9日
昭和4年4月17日
昭和22年4月1日
昭和22年4月8日
昭和23年4月1日
昭和41年4月1日
昭和59年1月22日
令和6年11月23日

北湧尋常高等小学校開盛特別教授場として創設
開盛尋常高等小学校と改称
開盛小学校と改称
上湧別中学校開盛分校併置
上湧別中学校開盛分校から開盛中学校に独立
開盛中学校を廃止し、上湧別中学校に統合
新校舎完成
開盛小学校閉校記念式典、ありがとうございました

湧別町が進める 学校教育のすがた

湧別町型小中一貫教育を推進するには、町内すべての学校が取り組んでいく「学び合いのある学び」による学校づくりが重要です。

子ども同士が理解し合い、頼り合えるなど、お互いに安心できる人間関係を基盤に学校生活を送ることができるよう、「一人残らずすべての子どもの学ぶ権利を保障する」、「どの子どもも安心して学ぶことができる環境を創る」という理念に基づき、「学び合いのある学び」の学習活動を充実させ、授業づくりを通して「学校づくり」を行います。

今年、町内すべての学校が義務教育学校になる最初の年です。湧別町にとって新しい教育のスタートとなる節目の年として、それぞれの学校の特色を生かした学校づくりを推進し、一丸となって9年間の学びに責任を持つ学校づくりを進めていきます。

校舎は現在の上湧別中学校を一部改修し、職員室や後期課程の教室の一部などを増築しています

事業費 12億5,195万円

(公立学校施設整備費負担金事業・学校施設環境改善交付金事業)

建築主体	7億9,585万円	電気設備	1億 934万円
機械設備	1億4,960万円	工事監理	1,243万円
設計	2,990万円	外構工事	6,490万円
グラウンド	6,633万円	備品ほか	2,360万円

湧別町立上湧別学園

〒099-6501 紋別郡湧別町上湧別屯田市街地1番地の1
TEL 2-2095 FAX 2-3095

施設面積

6,389.79㎡

校舎(増築)	986.48㎡	(渡り廊下44.22㎡)
校舎(既存)	3,588.86㎡	
屋内体育館(第1・既存)	1,162.22㎡	(渡り廊下18.33㎡)
屋内体育館(第2・既存)	652.23㎡	



校舎は現在の上湧別中学校を一部改修し、職員室や後期課程の教室の一部などを増築しています

富美小学校	上湧別中学校	全校共通
大正22年7月1日	昭和41年9月1日	令和7年3月31日
北湧尋常高等小学校富美特別教授場として創設	上湧別中学校開校	上湧別小学校・中湧別小学校・開盛小学校・富美小学校・上湧別中学校開校
大正7年7月25日	昭和42年10月18日	令和7年4月1日
上湧別公立富美尋常小学校と改称	校舎落成式典	上湧別学園(義務教育学校)開校
昭和22年4月1日	平成7年3月15日	令和7年4月7日
富美小学校と改称、上湧別中学校富美分校併設	第2体育館完成	上湧別学園第1回入学式挙
昭和23年3月31日	平成16年10月18日	
上湧別中学校富美分校から富美中学校に独立	新校舎完成	
昭和41年9月1日	平成27年2月20日	
富美中学校を廃止し、上湧別中学校に統合	第1体育館完成	
昭和61年4月7日		
上富美小学校を廃止し、富美小学校へ統合		
平成元年11月30日		
新校舎完成		
令和6年11月17日		
富美小学校開校式典、思い出を語る会開催		

3年半 お世話になりました

地域おこし協力隊として2020（令和2）年10月に着任し、3月末をもって卒業します。



湧別町出身の漫画家・かとうひなさんに、私の『活動記録すごろく』を制作していただきました。3年半の活動記録がぎゅっと詰め込まれていますので、素敵な絵柄とともに見ていただけると嬉しいです。



←『活動記録すごろく』はこちら

「実は、こんなことしていました展」を開催しました

地域おこし協力隊の任期期間中の活動を紹介する展示企画「実は、こんなことしていました展」を開催しました。『活動記録すごろく』やこれまでの活動紹介パネル、制作した動画の紹介に加え、公募で集めた町内の写真67作品を文化センターさざ波のギャラリーで2週間展示しました。

この展示は、情報発信担当の地域おこし協力隊として最後の大きな任務だと思い開催し、町内の方々はもちろん、町外の方々が見ても楽しんでいただける内容になりました。



卒業報告会を開催しました

これまでの活動について、発表形式でお世話になった方々に報告させていただきました。卒業証書もいただき、より、協力隊を卒業する実感が湧きました。



卒業報告会の会場内でもこれまでの制作物の一部を展示しました

私がゆうべつに定住できた理由

「なんでこんなところに？」と聞かれることが多いので、私が定住できた理由をお伝えしたいと思います。

自然環境

この地域にしかない野生動物が日常的に見られること、視界を遮るものがなく広い空が広がっていること、空気がきれいなこと、海が近いことなどなど、町の風景を眺めているだけで、ストレスが溜まりません。

長く住んでいる方にとっては何気ない風景かもしれませんが、私にとってはこの自然環境が当たり前ではなく、移住直後からずっと自然に癒されています。



偶然撮影できた森の王者
“クマタカ”



冬の湧別川(上湧別橋より撮影)



初めてのチューリップ球根
植え付け会



お世話になった町の方との一コマ

人の温かさ

関東から単身で移住してきた完全ヨソモノの私を毛嫌いすることなく、よそから来たといっても「そうなんだね！何か大変なことはない？」と、適度な距離感で、ほどよく助けてくださる町の方々のやさしさに触れて、惚れました。

また、町の方とお話させていただくと、「湧別住みやすいよね」と意外と町のことを好きな方が多くて、自分の住む町をおすすめできるほどいい町であることを教えていただきました。

これからもよろしくお願いします ~卒業後について~

日常生活を送りながら、協力隊として活動しているうちに町が大好きになり定住し、心底“町の魅力を伝えたい”と思うようになっていました。移住してから3年半の間活動できたのは、たくさんの方の支えがあったからです。お世話になりました。ありがとうございました。

私事ですが今月第二子を出産予定のためしばらく活動を休止しますが、今秋をめどに個人事業を開始し、空き家問題に着目した事業を中心とする法人を設立する予定です。また、任期期間に行っていたスマホ個別相談会も再開できればと思っています。協力隊として活動し学んだことを生かせるよう、一湧別町民として、そして協力隊OGとして、町に恩返しができるよう活動を続けていきます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。





第39回 湧別原野オホーツク クロスカントリースキー大会



561人が白銀の大地を駆け抜ける

2月23日(日)に第39回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会が遠軽町から湧別町にわたる湧別川流域を舞台に開催されました。

昨年に引き続き少雪の影響から、日本最長の95kmを駆け抜けるスキー駅伝や80kmの湧別原野コースなどが中止となりましたが、24kmの湧別コース、10kmコース、3kmコース、5人の合計タイムで競うスキー駅伝の4種目が行われ561人が出場しました。

町内からは、本年度で廃校となる富美小学校や開盛小学校の児童を含む47人が参加。

湧別コース、10kmコース、スキー駅伝のゴール地点である文化センターTOMでは、10時過ぎから選手たちが次々とゴールし、疲れとともに充実した表情を見せていました。

開催に向けてご尽力いただいた関係者、大会運営にご協力いただいたボランティアの方々には心からお礼を申し上げます。

種目	出走者数	完走者数	完走率
湧別コース 24km	382人	374人	97.91%
10kmコース	45人	45人	100%
3kmコース	99人	99人	100%
スキー駅伝 24km	7組35人	7組35人	100%
合計	561人	553人	—

湧別コース(24km) 男子

- 優勝 木村大志(長野県 1:03:37)
- 2位 山田琢也(長野県 1:03:57)
- 3位 田中陽希(群馬県 1:07:39)

湧別コース(24km) 女子

- 優勝 米田和美(札幌市 1:13:08)
- 2位 林 暁子(札幌市 1:23:26)
- 3位 飯田直子(東京都 1:23:49)

10kmコース 男子

- 優勝 岡部 諭(美幌町 0:36:54)
- 2位 引地 慎(湧別町 0:41:22)
- 3位 吉田修也(札幌市 0:49:13)

10kmコース 女子

- 優勝 吉澤文女(遠軽町 0:48:47)
- 2位 吉田裕香(札幌市 0:52:18)
- 3位 山口のり子(滝上町 1:05:21)

スキー駅伝(24km)

- 優勝 遠軽バイアスロン (遠軽町 5:38:48)
- 2位 空自千歳剛クラブ (恵庭市 6:32:06)
- 3位 秦野・岡村ファミリー(遠軽町 7:47:06)





原野オホーツクスカントリー



部活動の地域移行を進めています

湧別町教育委員会では、学校部活動から地域クラブへの移行を検討するため、令和5年11月に学校関係者やスポーツ・文化団体関係者などで構成する「湧別町部活動地域移行検討委員会」を設置し、協議を進めています。これまでの「部活動の地域移行」へ向けた取り組みについてお知らせするとともに、部活動を指導、協力いただける方を募集します。

部活動の地域移行とは？なぜ必要なの？

これまで学校教員が担ってきた部活動の指導を、地域のスポーツ・文化団体などが担うことで、部活動を地域の活動に位置付けることです。

少子化による生徒数や教員数の減少にともない、学校単独では部活動のチームが組めないことや、部活動自体の減少で生徒たちが希望する部活動を選択できなくなっており、学校だけで部活動を維持することが困難になっていることが背景にあります。

このため、国や北海道の方針をふまえ、湧別町においても子ども達が継続してスポーツ・文化活動に親しむことができる機会を確保する必要があります。

国・北海道の考え方

- 地域の子供も達は、学校を含めた地域で育てる
- 公立中学校などを対象として、まずは休日の部活動から段階的に地域移行する
- 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域の実情に応じて可能な限り、早期の実現を目指す

参考：総合的なガイドライン（スポーツ庁、文化庁）抜粋

これまでの湧別町の取り組み

令和5年度

体育協会、文化連盟、スポーツ少年団本部への説明
部活動地域移行検討委員会を設立
部活動地域移行に関する講演会の開催

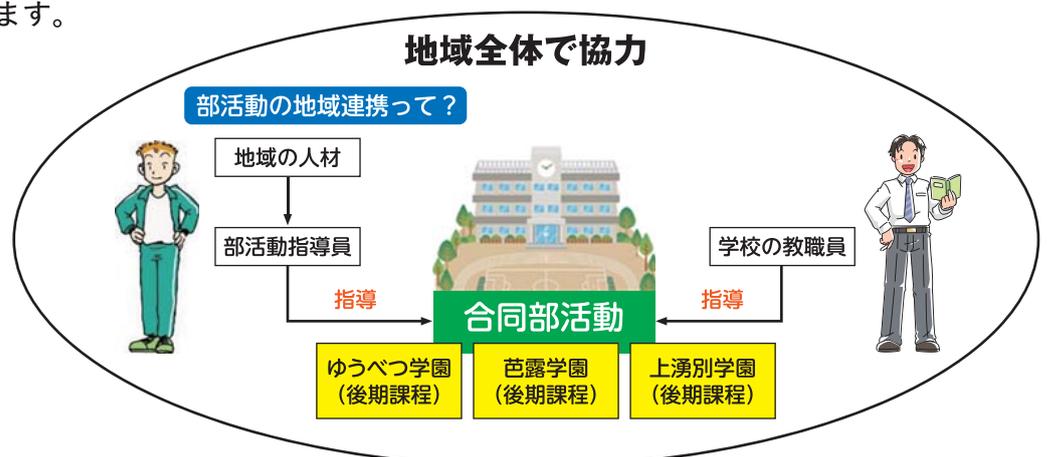
令和6年度

児童生徒、保護者、教職員、スポーツ・文化団体アンケート調査の実施
部活動関係者との懇談会の実施
今後の進め方について、部活動地域移行検討委員会で協議

これからの湧別町の部活動のイメージ

令和7年度末までに、学校部活動の地域連携として、休日の部活動は部活動指導員が指導する体制の整備を目指します。

※部活動指導員
部活動の技術指導や学校外での活動（大会や練習試合など）の引率など、義務教育学校（後期課程）の部活動に携わる人材を指します。



学校部活動サポーター「仮称」(ボランティア)を探しています

この取り組みを進めるため、学校部活動への指導や協力いただける方を探しています。直接の指導は難しい場合でも、生徒の練習相手や自主練習の見守りなどの形でサポートしたいという方も大歓迎です。生徒と一緒に活動してみませんか？

「サポートの例：体力づくりの協力ができる」など。

区分	内容	要件
学校部活動サポーター「仮称」	部活動顧問とともにコーチなどとして指導を補佐	知識や技能(文化活動や競技経験)があり、学校教育に理解がある方
	指導以外の活動をサポート (練習相手、準備、後片付けの手伝い、生徒の見守り、事務的な協力など)	専門的な知識や技能は不要。生徒の活動に興味があり、学校教育に理解がある方

●学校部活動サポーター「仮称」(ボランティア)の応募(登録)方法

右の応募フォームか専用URLから必要事項を入力してください。

専用URL <https://logoform.jp/form/yTo3/904092>



応募フォーム

●応募資格

- ・18歳以上(高校生を除く)で資格の有無は問いません。休日のみ月1回でも可能です。
- ・町内の義務教育学校(後期課程)における部活動指導や協力が可能な方。

●募集する種目

- ・町内の義務教育学校(後期課程)の部活動に限ります。
- ・野球、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、バドミントン、サッカー、吹奏楽部



●その他

- ①登録情報は、目的外での使用は一切いたしません。
- ②報酬などについては、現在検討中です。登録された方と学校部活動の顧問で打ち合わせ、可能な種目から指導や協力をいただきます。
- ③部活動の地域移行に関するご意見などは、ご意見フォームかEメールでお寄せください。

Eメール shakyo@town.yubetsu.lg.jp



ご意見フォーム



<お問い合わせ先> 社会教育課社会教育グループ TEL 5-3132

地域の資源を活用した新たな取り組みを応援！

魅力あるまちづくりスタートアップ応援事業

町では、地域資源の活用や地域の活性化などに取り組む方を応援するため、「魅力あるまちづくりスタートアップ応援事業補助金」を実施しています。町内の豊富な資源を活用した、新たな取り組みに挑戦する方はぜひご活用ください。

対象事業

区分	対象事業の例
地域資源付加価値向上事業 ○地域資源を活用した新製品や新サービスの開発 ○地域資源の付加価値を高める研究 ○販路の拡大、新規開拓	○地域資源を活用した加工品の試作、開発 ○6次産業化などに関する調査、研究 ○販路拡大に向けた市場調査
イメージアップ支援事業 ○町および地域資源のイメージを高める事業	○製品パッケージの制作
産業間連携事業 ○産業間の連携を推進する事業	○他産業の技術転用に向けた研究、他産業と連携した製品の開発

対象者

対象者	補助額
町内に住所を有する個人	対象経費の4分の3 (上限100万円)
町内に住所を有する個人で構成する団体	
町内に独立した事業所を有する法人	対象経費の2分の1 (上限100万円)
法人または法人および個人で構成する団体	



事業の詳細はこちら
(町公式ホームページ)

令和6年度の活用実績

(株)マルナカ相互商事

廃棄されるはずのホタテの貝殻を細かく砕き、プラスチックと配合させることにより、環境にやさしいフィルム袋を作成するほか、同社のゆるキャラを制作し、商品パッケージやイベントで配布するぬいぐるみやクリアファイルに活用することにより、商品販売を通じた町のPR活動を行いました。

作成したフィルム袋は、ふるさと納税の返礼品として取り扱っているホタテ玉冷にも使用しています。



屯田七まつり会場で試飲会を実施しました

ホタテの貝殻を活用した
フィルム袋を使用した商品



日本酒「湧別」普及促進委員会

上川大雪酒造(株)で製造した日本酒「特別純米 湧別」の周知と普及を図るため、のぼりやポスターなどの広報資材を作製し、「湧別」を取り扱う町内店舗に配布、各店舗でのPRを行うほか、町が実施する試飲会などに協力しています。

まちづくり懇談会

令和6年度の「まちづくり懇談会」が12月1日から1月28日まで14会場で開催され、282人の方にご参加いただきました。

お寄せいただいたご意見、ご要望の一部をご紹介します。

※紙面の都合上、要約して掲載しています。

貴重なご意見・ご提案を
いただきありがとうございました

これからのまちづくり

人口減少を止めるためには、魅力あるまちづくりが必要ではないか。

答 移住人口だけを考えると難しいですが、交流人口から関係人口を増やしていくことにより定住へとつながると考えており、保育園留学なども行っています。若い方々が元気に安心して生活できるようなまちづくりを進めたいと考えています。

問 TOM周辺以外の中湧別地区全体の検討はしないのか。

答 まずはTOM周辺の整備を考えています。寄付により老人憩いの家周辺に学生寮を整備していただくことから、合わせて商工会から要望のあったコインランドリーなどの整備も検討しています。また、キャンピングカー利用者向けのトイレやRVパークなどの整備に取り組みたいと考えています。全体の街並み整備や空き店舗の解消などは難しいですが、皆さんと一緒に検討を進めます。

庁舎の集約化

庁舎の位置を変更するための3分の2の賛成を得る見込みがな

いのではないか。

答 設計や建設費などの予算は議会の過半数の議決を経て予算化をすることができ、準備を進めています。庁舎の位置に関しては、町民の皆さまと議会に説明し、理解していただくよう努力します。

問 建設により、町民の負担が増えるのではないか。

答 建設により住民サービスが低下したり、税金が上がったり水道や福祉施設などに影響が出ることはありません。財政的にも問題なく整備が可能であると判断し取り組んでいます。

問 若い人を呼び込むためにも、魅力ある建物が必要。庁舎イメージ図を見て子どもが本当に大切にされていると感じた。夢の改修だと思ふ。

答 経費を最小限に抑えるため、中湧別小学校に保健センター、乳幼児が集える場、eスポーツスタジオ、公設塾などの整備を計画しています。財源は国からの補助金を効果的に活用する方針です。

教育

湧別高校存続には、学力向上が必要ではないか。

答 北海道大学と連携し、大学院生や教授を招き、授業に参加していただいています。

毎年、国公立や私立大学へ進学する生徒がいますが、アピールが十分ではありません。学力向上を目指し、公設塾の設置にも取り組む予定です。学力指導はもちろん、進路指導や生活指導などもできる体制を取りたいと考えています。

問 小樽商科大学との連携協定で、どのようなことが行われるのか。

答 同大学では夜学コースを設けており、この枠で地域の教室でオンライン授業を受け、夏休みなどに実際に大学に行って直接授業を受けることで、通常の学修と同様に4年間で

道路

卒業となり、商学系の学位を取ることができません。

問 旭川紋別高規格道路の進捗とこれからのルートを教えてほしい。

答 旭川から遠軽までの道路は約99km完成しており、紋別まで残り31kmとなっています。遠軽から南兵村一区までが事業計画区間として13km予定されており、すでに用地買収や一部工事も開始されています。この区間に遠軽自衛隊付近と南兵村一区の2カ所にインターチェンジができる予定です。それ以降紋別までのルートは現時点では未定です。

月日	自治会	人数
12/1(日)	錦町	26
12/3(火)	4の1、4の2、4の3	22
12/4(水)	東町	22
12/5(木)	川西・信部内・旭	14
12/6(金)	港町・曙町・緑町・栄町	24
12/7(土)	芭露	23
12/8(日)	札富美	9
12/9(月)	北町	22
12/15(日)	5の3	20
12/18(水)	中町	15
1/24(金)	東	16
1/24(金)	南町	15
1/26(日)	屯市	20
1/28(火)	登栄床	34
計	14会場21自治会	282

ホームページでは掲載しきれなかった意見などもご覧になることができます



1/28

これからも技術を磨く

自動車整備全国大会の優勝を報告

自動車整備の技術を競う全日本自動車整備技能競技大会で優勝した湧別町農協車両整備工場の広井晃彦さんが、湧別町農業協同組合の上田組合長とともに刈田町長を訪問し、昨年11月に東京で開催された全国大会での優勝を報告しました。

広井さんは、「日本一という称号はプレッシャーにもなりますが、それに負けないように整備の技術を磨いていきたい」と今後の意気込みを話しました。

湧別庁舎



2人1チームで実車修理や接客対応などの技術を競う全国大会で優勝した広井さん（写真中央）

1/29

町民によるまちづくりを目指して

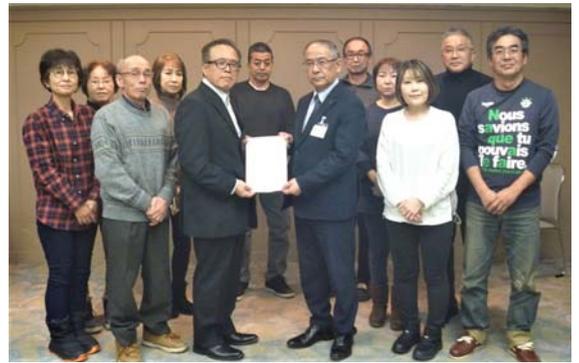
第3期 第10回自治推進委員会を開催

答申内容の最終確認が行われ、答申書が町に提出されました。

令和4年9月から全10回にわたる会議を重ね、条例に基づいた取組内容の点検と条例改正の必要性について審議を行ってきました。

答申書は、自治基本条例に基づく情報発信などの運用に対し、4つの提言がまとめられています。今後、これらの提言をもとに町の取組内容の改善を検討します。

文化センターTOM



安瀬委員長から答申書が提出されました

<条例の運用に対する4つの提言>

提言① 多様な媒体による情報発信

若年層へのアプローチに効果的と考えられるSNSを活用した情報発信の検討が必要。

提言② 魅力的な情報発信

記事を端的な短い文章で記載し、重要な部分は特に目立つように工夫が必要。また、町民の参加感を高めるため、身近で注目を集める事業は、中間報告のような適時情報を発信できないか検討が必要。

提言③ より多くの町民参加

意見交換会や懇談会では、若者の参加を推進するだけでなく、幅広い世代に参加いただけるように努めることが必要。

提言④ 交流事業の推進

国内外での交流事業は、コミュニケーション能力が養われ、世界観が広がり、人生の大きな財産となることから、今後も可能な限り継続するべき。

1/31

作文コンテストで優秀賞

「社会を明るくする運動」道東地区作文コンテスト

次世代を担う小中学生に、日常の家庭生活や学校生活の中での体験をもとに、犯罪・非行などについて考えたことや感じたことを作文に書くことで、「社会を明るくする運動」に対する理解を深めてもらうため、作文コンテストが実施され、道東地区57点の応募の中から、秋葉陽向（ひなた）さん（開盛小5年）が優秀賞を受賞しました。また、安部葡萄（ほのか）さん（ゆうべつ学園9年）と小形ひなのさん（ゆうべつ学園9年）の2人が佳作に選ばれました。

上湧別庁舎応接室



優秀賞を受賞した秋葉さん



(有)中谷牧場 (計呂地)



育成牛舎やロボット搾乳機など牧場内の施設を案内

1/
31

地域が輝く取り組みを

なおみちカフェ開催

なおみちカフェとは、鈴木直道北海道知事が地域づくり実践者などから直接取り組みを聞き、広く発信していく北海道の取り組みです。

本町では、(有)中谷牧場の飼育環境などを見学したほか、同社により設置されたARVO 24H storeで懇談が行われ、「地場産品の6次産業化だけでなく、地域コミュニティの維持に向けたとても良い事例です。道としても引き続き、酪農振興や地方創生に取り組んでいきます」と、深いご理解をいただきました。



北海道ホームページ

芭露スケートリンク



保育所・こども園、小学校、義務教育学校などから約70人の選手が出場

2/
1

1位になるぞ!

第55回湧別町スケート大会

レースは未就学児、小学生、中学生・一般の部に分かれて50メートルから500メートルまでの種目で行われ、最後まで勝負が分からない白熱したレース展開に、会場に駆け付けた保護者や友人たちからたくさんの声援が送られました。

また、みんなで勢いよくリンクにダイブして距離を競い合う「人間ダイビング」では、少しでも遠くに一生懸命手を伸ばす様子に会場は笑顔に包まれました。

中湧別総合体育館



各自治会を中心に編成した7チーム約90人が参加

2/
2

地域の絆を深める

町民300歳バレーボール大会

湧別町上湧別バレーボール協会（大槻剛敏会長）主催の、「上湧別バレーボール協会杯 町民300歳バレーボール大会」が開催されました。

仕事終わりなどに集まって練習してきた地域のメンバーたちは練習の成果を存分に発揮。

優勝した「錦チーム」も、残念ながら負けてしまった各チームも、普段はなかなか顔を合わせる事のない方々同士、大会終了後の懇親会を含めてこれまで以上に絆が深まる1日となりました。

町内の保育所・認定こども園



子どもたちに日本の伝統行事「豆まき」を楽しんでもらいたいと毎年行っています

2/
3

鬼はそと! 福はうち!

商工会青年部が豆まかれ訪問

商工会青年部（竹林直人部長）による恒例の節分行事「豆まかれ訪問」が行われました。

恐ろしい鬼に扮した青年部員が登場すると、子どもたちは大パニックになりましたが、逃げまどいながらも「鬼はーそとー!」と勇敢に豆を投げて鬼に立ち向かいました。

豆まきにより降参した鬼たちはプレゼントを配り、今年の鬼退治も無事終了しました。



2/
4

優しい気持ちで接してね

上湧別小学校で認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座が上湧別小学校1～4年生を対象に行われ、認知症とは何か、その症状や対応方法を学びました。小学校での開催は初の試みです。

3・4年生のクラスでは、指を固定して動きを制限したり、フィルム越しに周りを観察したりして、高齢者が生活する上でどのような苦労があるかを体験しました。

児童は、「困っているお年寄りの人がいたら助けたいと思った」と話し、認知症について理解が深まる時間となりました。

上湧別小学校



視界が悪くなるフィルムをつけて高齢者の見え方を疑似体験

2/
5

地域の魅力を引き出すイベントと評価

サロマ湖100kmウルトラマラソンがスポーツツーリズム賞を受賞

観光庁、文化庁、スポーツ庁が合同で実施するスポーツ文化ツーリズムアワード2024において、「サロマ湖100kmウルトラマラソン」が「スポーツツーリズム賞」を受賞しました。

スポーツと文化を結び付け、新しい観光資源として地域の魅力を引き出すものと認められたもので、授賞式には実行委員会副実行委員長である因副町長が出席しました。

今年は第40回記念大会を迎える大会で、6月29日（日）に開催されます。

東京都



室伏広治スポーツ庁長官より表彰を受けました

2/
15

大規模災害にふれて

地域の支え合い活動を考える学習会 特別編

講演では、湧別町生活支援コーディネーターの海谷政貴さんが災害ボランティアセンターの職員として被災地で撮影した写真などを交えて、災害発生から2カ月後の避難所の状況や、被災者の声などを紹介しました。瓦礫の下に埋もれたまま放置された自動車や、土砂が家の天井近くまで襲った形跡など、衝撃的な写真が紹介されるたび、参加者は深いため息を漏らしました。

海谷さんは、日頃から「地域とのつながりと、助けてと言える“受援力”」を培っていく事が重要と訴えました。

文化センターTOM



能登半島地震や秋田・山形の大雨災害で直面したリアルな現場体験を伝える講演が行われました

広告

相続手続

相続登記義務化、祖父母兄弟姉妹相続など
むずかしい手続き、お問い合わせください

寺西行政書士事務所

Tel 090-6211-8230

湧別町北兵村一区101番地11 旧でらし商店



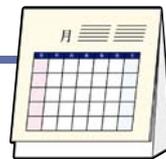
五鹿山スキー場

レストラン営業中 **ご家族みんなで お越しください**
FREE Wi-Fi 完備



営業時間、期間・コースは、気象状況・ゲレンデ
コンディション等により変更となります。

湧別町北兵村二区 TEL (01586) 2-3111 沢口産業株式会社



イベント・行事スケジュール

3月10日から4月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。

3月14日(金)	芭露学園卒業式 (8:40 芭露学園) 上湧別中学校卒業式 (9:00 上湧別中学校) ゆうべつ学園卒業式 (9:10 ゆうべつ学園) 運動・トレーニング指導 (10:00 湧別総合体育館)
15日(土)	わくわく体験塾「閉塾式」(10:00 文化センターさざ波)
16日(日)	カルチャー教室「ミニボトルフラワーワークショップ」(10:00 文化センターTOM)
19日(水)	中湧別小学校卒業式 (10:00 中湧別小学校)
21日(金)	富美小学校卒業式・閉校式 (10:00 富美小学校) 上湧別小学校卒業式 (10:00 上湧別小学校)
24日(月)	開盛小学校卒業式・校旗返還式 (8:30 開盛小学校) 上湧別中学校閉校式 (10:15 上湧別中学校) 中湧別小学校閉校式 (11:10 中湧別小学校) 上湧別小学校閉校式 (13:15 上湧別小学校)
27日(木)	運動・トレーニング指導 (10:00 湧別総合体育館)
28日(金)	認定こども園みのり卒園式 (9:00 認定こども園みのり) 湧別認定こども園卒園式 (10:00 湧別認定こども園) 芭露保育所修了式 (11:00 芭露保育所)
4月4日(金)	認定こども園みのり入園式 (9:00 認定こども園みのり) 湧別認定こども園入園式 (10:00 湧別認定こども園) 芭露保育所入所式 (11:00 芭露保育所)
7日(月)	上湧別学園開校式 (8:30 上湧別学園) ゆうべつ学園入学式 (11:00 ゆうべつ学園) 芭露学園入学式 (13:20 芭露学園) 上湧別学園入学式 (13:30 上湧別学園)
8日(火)	湧別高校入学式 (13:30 湧別高校)
19日(土)	上湧別学園開校記念式典 (9:00 上湧別学園) わくわく体験塾「入塾式」(10:00 文化センターさざ波)

QRコードの 読み取り方



広報ゆうべつでは、町ホームページなどで
詳細を確認できるよう、QRコードを掲載し
ています。

カメラや読み取り
アプリを起動する



カメラをQRコード
に向ける



表示された
アドレスを押す



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

広告

カーライフプラン
金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫
ホームページをご覧ください。窓口へお問い合わせください。

ふれあい さわやか
遠軽信用金庫

温まり感が違います!!
木曜日は **薬草湯** の日

3月の薬草湯は
ローズマリー・オレガノ・
ドクダミ配合の薬草湯です
やわらかな香りにつつまれて
温泉で春を感じませんか?

かみゆうべつ温泉 **チューリップの湯**
湧別町中湧別中町 TEL(01586)④-1126 沢口産業株式会社

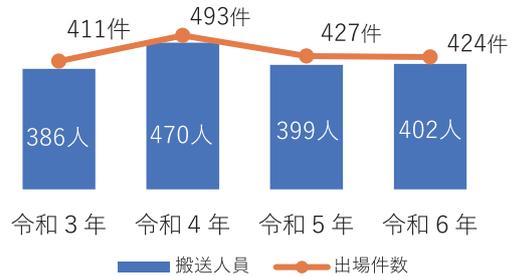
令和6年 救急・救助 状況

◆湧別町の救急出場の概況

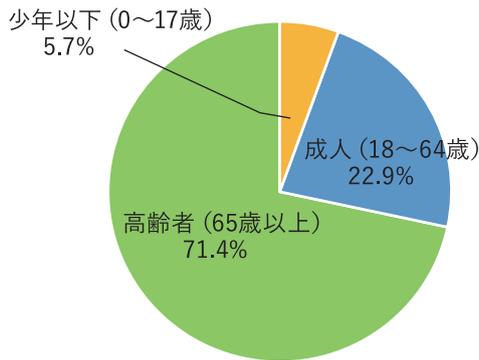
令和6年の遠軽地区3町（湧別町・遠軽町・佐呂間町）の救急出場件数は1,775件（前年より63件増）、搬送人員は1,681人（前年より98人増）でした。

そのうち、湧別町で出場した件数は424件（前年より3件減）、搬送人員は402人（前年より3人増）となり、令和4年から出場件数は減少傾向です。

事故種別	急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	労働災害	運動競技	自損行為	水難	その他	合計
出場件数	263	74	47	19	13	3	2	2	1	424
不搬送件数	14	4		3	1		1		1	24
搬送人員	250	70	47	17	12	3	1	2		402



※1件の出場で複数人搬送している場合があります。



年齢区分別では「高齢者（65歳以上）」を搬送した割合が全体の約70%以上を占めています。

現在、少子高齢化が進み、医療従事者の不足により医療機関の規模が縮小しています。そのため、救急隊員の観察結果から病態や症状などによっては本人やご親族の希望に添えない医療機関への搬送や、遠軽地区以外への搬送をする場合があります。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◆湧別町の救助出場の概況

令和6年の遠軽地区3町（湧別町・遠軽町・佐呂間町）の救助出場件数は21件（前年より2件減）、救助人員は12人（前年より1件増）となりました。

そのうち、湧別町で出場した件数は9件で、事故種別では「交通事故」が7件、次いで「水難事故」が2件となっています。

湧別町内の交通事故の特徴として、冬期間は吹雪によるホワイトアウト（視界不良）や吹き溜まりでのスリップ事故、アイスバーン（路面凍結）による交差点での出会い頭事故が多発しています。

遠軽地区広域組合消防本部では、複雑・多様化する災害や事故に対し、的確に対応するため訓練・研修を重ねるとともに、より高度な知識・技術の習得に努め、引き続き救助体制の充実・強化を図っていきます。

事故種別	交通事故	水難事故	その他	合計
出場件数	7 (16)	2 (2)	0 (3)	9 (21)
活動件数	4 (8)	1 (1)	0 (2)	5 (11)
救助人員	5 (10)	1 (1)	0 (1)	6 (12)

※（ ）は3町での数です。

令和6年 火災発生 状況



◆遠軽地区3町(遠軽・湧別・佐呂間)の火災状況

火災発生件数	19件 (うち 湧別町4件)
建物火災	10件 (うち 養畜舎4件)
車両火災	2件
その他の火災	7件

※死者1人、負傷者3人

◆住宅用火災警報器を点検しましょう

住宅用火災警報器の設置が義務化されてから10年以上が経過しました。

多くの機器は交換時期を迎えており、電池切れや故障が確認されています。

住宅火災による死者の半数は「逃げ遅れ」が原因です。大切な家族の命を守るためにも、住宅用火災警報器を設置し、適切な点検を行いましょ。



◆3町の火災発生状況

原因別の上位	配線器具	3件
	たばこ	3件
	ストーブ	2件

※火気の取扱いの不注意や始末から多くの火災が発生しています

◆3町の火災発生状況の詳細(令和4年~令和6年)

年別	出火件数				焼損状況				損害額(千円)	死者	負傷者	焼損棟数	り災世帯数	り災人員数		
	建物		林	車	その他	床面積(m ²)	表面積(m ²)	林							車	
	全焼	半焼														部分焼
R6	2	2	1	5	2	7	19	1,173	31	2	31,028	1	3	15	4	9
R5	3		2	5	5	8	23	246	21	7	10,020	1	3	12	8	8
R4	2		1	3	4	4	14	300	61	5	42,646	2	3	10	7	13

配線器具(テーブルタップ、延長コード、マルチタップなど)による事故が増えています

全国的に5年間で2倍になっています。ほこりを放置したり、机や椅子の脚で踏んだり、最大消費電力を超えて使用したりすると、火災につながるおそれがあります。器具の清掃や使用状況を定期的に確認し、事故を未然に防ぎましょう。

身近にある火災の原因

●放火・放火疑い

家の周りに置かれた不用品やゴミステーションなどに放火される火災が全国各地で発生しています。普段から放火されない環境作りを行いましょ。



●たばこ

たばこの火種は、小さな火でもくすぶり続け、数時間経過してから燃え上がることがあります。たばこの始末は喫煙者のマナーです。



●コンロ

鍋を火にかけていることを忘れてしまい、火災に至るケースが多いです。火のついたコンロから離れるときはしっかり火を消しましょ。



●配線器具

電気配線のショートやトラッキングによりコンセントから出火することがあります。定期的に清掃を行いほこりを取りましょ。



●火遊び

ライターやマッチは子どもの手の届かないところで保管しましょ。小さな子は好奇心旺盛なので特に注意しなければなりません。



●ストーブ

ストーブの周りに燃えやすいものは置いたり干したりしていませんか? ストーブから火災に至るケースは毎年のように発生しています。ご自宅のストーブを今一度、点検しましょ。



後期高齢者医療制度

～負担を軽減～ 高額介護合算療養費
 ～健康管理に～ 医療費通知

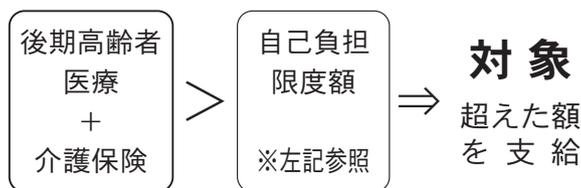
医療と介護の両方を利用している世帯の負担を軽減するため「高額介護合算療養費」という制度があり、該当すると自己負担額が軽減されます。

【お問い合わせ先】
 北海道後期高齢者医療広域連合 TEL011-290-5601
 湧別町役場 健康こども課医療グループ TEL5-3765

高額介護合算療養費

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度および介護保険から支給されます。

◆対象となる方



◆自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間:R5.8.1～R6.7.31】

負担割合	区分		自己負担額の合計の限度額
3割	現役並み所得者	課税所得 690万円以上	212万円
		課税所得 380万円以上	141万円
		課税所得 145万円以上	67万円
2割	一定以上所得者		56万円
一般			
1割	住民税非課税世帯	区分Ⅱ(※1)	31万円
		区分Ⅰ(※2)	19万円

- ※1 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方
- ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）の方

◆手続き方法

該当となる方には、申請書が送付されます。下記申請先で手続きをしてください。なお、次の方は対象となりません。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額が0円の方。
- 支給額が500円以下の場合。

◆申請先

健康こども課（湧別庁舎）、住民税務課（上湧別庁舎）、中湧別出張所

医療費通知を全受診者へ送付しています

対象期間に医療機関などを受診したすべての被保険者の皆さまに、医療費総額などをお知らせする「医療費通知」を送付しています。年2回（1月と2月）発行されます。診療日数などに間違いがないか確認しましょう。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関名称等	診療区分	日数	医療費の総額	自己負担額	食事療養・生活療養費		
						回数	費用額	標準負担額
令和6年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800			
令和6年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000			
令和6年3月	△△病院	医科入院	5	202,000	20,200	15	11,490	6,900
合計				230,000	23,000		11,490	6,900

医療費通知の活用方法

- ①所得税・住民税の申告で医療費控除を申告する際に「医療費の明細書」として使用できます。※申告に関することは税務署・住民税務課にお問い合わせください。
- ②医療費の記録が一目で分かるため、ご自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- ③健康診査など、皆さまの健康保持・増進に役立つ情報が記載されています。



※詳しい制度や手続きは日本年金機構ホームページをご覧ください。



国民年金加入・喪失の手続き

◆国民年金への加入

20歳から59歳の方が職場を退職し、厚生年金の資格を喪失すると、国民年金に加入しなければなりません。

また、20歳から59歳までの扶養している配偶者がいる場合は、配偶者も国民年金の種別が第3号から第1号被保険者に変更になります。あわせて手続きしてください。

<手続きに必要なもの>

- ①加入者の基礎年金番号が分かるもの
- ②健康保険資格喪失証明書など、退職日が分かるもの

◆国民年金の喪失

就職した時や、厚生年金に加入している配偶者の扶養に入る場合、厚生年金への加入手続きは原則として勤務先の事業所などが行うため、個人での手続きは不要です。ただし、国民健康保険の喪失手続きは個人で行う必要があります。

学生納付特例制度

日本に住むすべての人は、20歳から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務付けられています。しかし、学生の場合、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

申請が遅れて保険料が未納になると、不慮の事故などで障害が残った場合に、障害年金を受けることができなくなります。

◆対象者

大学や高校、各種学校などに在学する学生で、前年の所得が基準額以下の方。

【基準額】※本人の所得のみ

128万円+扶養親族の数×38万円+社会保険料控除など

◆年金を受け取るためには放置せず手続きを

年金を受け取るためには原則として10年以上の納付期間が必要となります。学生納付特例制度を利用することで、最大10年の保険料納付の猶予が可能となり、この期間は老齢基礎年金の受け取りに必要な期間として算入されるため、放置せずに手続きすることをお勧めします。

なお、猶予期間は保険料を納めていないため、年金額には反映されません。将来受け取る年金額を増額するためにも、追納することをお勧めします。

保険料の追納制度

保険料の免除・納付猶予や学生納付特例を利用した期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて年金額が少なくなります。ただし、後から保険料を納付（追納）することで、年金額を増やすことができます。また、追納した保険料は社会保険料控除となり、所得税・住民税が軽減されます。

- ・追納できるのは、追納が承認された月の前10年以内となります。
- ・原則、古い期間の分から納付していただきます。
- ・免除などが承認された期間の翌年度から起算して、3年度目以降に追納する場合、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乘せされますので、お早めの追納をお勧めします。

北見年金事務所出張相談所

開設日	開設時間	開設会場
4月16日(水)	午後1時～午後5時	紋別市民会館(紋別市潮見町1丁目)
4月17日(木)	午前9時～午後2時30分	
5月15日(木)	午前10時～午後4時	遠軽町保健福祉総合センター・げんき21 (遠軽町1条通北1丁目)
6月18日(水)	午後1時～午後5時	紋別市民会館
6月19日(木)	午前9時～午後2時30分	



パスポートが 変わります

3月24日(月)申請受理分から、偽造や変造対策を大幅に強化した「2025年旅券(パスポート)」の発給を開始します。あわせて、手続きが次のとおり変更になります。

◆変更点

- ・現在、オンライン申請は更新のみでしたが、新規申請も可能となります。

- ・「2025年旅券」は国立印刷局で集中的に作成し、各窓口へ配送されるため、現在よりも申請から交付までの期間が長くなります。旅行などの予定がある方は、お早めの申請をお願いします。

- ・パスポートの新規申請には戸籍謄本の原本が必要ですが、オンライン申請では紙の戸籍謄本を提出する必要がなくなります。

◆申請から受取までの日数

湧別町での申請・受取は現在の約2週間から約3週間に変わります。

◆お問い合わせ先

住民税務課 住民生活グループ
Tel 215863



詳しくは北海道
パスポートセンター
ホームページへ



引っ越しをしたら 住所異動手続きを

就職・転勤・入学など住所の異動がある方は、役場窓口で手続きを行ってください。

◆届け出の種類と時期

- ・転出届(町内から町外へ引っ越し) 転出予定日前までに届け出。
- ※署名用電子証明書が搭載されているマイナンバーカードをお持ちの方は、オンライン申請で手続きできます。

- ・転入届(町外から町内へ引っ越し) 転入日から14日以内に届け出。
- ・転居届(町内で引っ越し) 転居日から14日以内に届け出。

◆届け出に必要なもの

- ・本人確認書類(マイナンバーカードや運転免許証など公的機関発行のもの)
- ・その他、町などから発行されている医療受給者証などもお持ちください

◆届け出先

役場上湧別庁舎・役場湧別庁舎・中湧別出張所・芭露出張所
※土日・祝日は、中湧別出張所のみ。マイナンバーカード関連の手続きは停止しています。

◆お問い合わせ先

住民税務課 住民生活グループ
Tel 215863



自動車の住所変更を お忘れなく

自動車税種別割は、毎年4月1日現在の登録に基づいて課税されます。次の場合は、3月末までに登録手続きを行ってください。

- ・住所が変わったとき(変更登録)
- ・自動車を売買したとき(移転登録)
- ・自動車を使用しなくなったとき(抹消登録)

◆登録手続き窓口

北見運輸支局(北見市東三輪)
Tel 050・5540・2007

◆変更登録が間に合わないとき

札幌道税事務所に連絡するか、道税ホームページで納税通知書の送付先住所の変更ができます。



道税ホームページ

◆お問い合わせ先

札幌道税事務所自動車税部
Tel 011・746・1190

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います



株式会社

えんがる葬祭

☎0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

24時間
受付

式場収容数

- ・大ホール400名
- ・中ホール200名
- ・小ホール100名
- ・法事ホール

3月は道税の滞納 整理強化月間です

3月は自動車税、個人事業税および不動産取得税などの滞納整理を強化しています。給与や預貯金など財産の差し押さえを行いますので、納税がお済みでない方は、至急納税してください。

◆お問い合わせ先

紋別道税事務所
Tel 0158-24-2626



相続登記の申請が義務化されています

令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されています。不動産取引や公共事業の妨げとなる「所有者不明土地（不動産登記事項を見ても所有者が判明しない土地）」の発生を予防するため、相続によって不動産を取得した方は、それを知った日から3年以内に登記申請をしなければならなくなりました。

相続登記の申請は、専門家である司法書士に依頼することができます。また、登記手続きに必要な書類は、釧路地方法務局のホームページを閲覧いただくか、登記手続案内（予約制）にお電話ください。

◆釧路地方法務局登記手続案内予約

Tel 0154-31-5021



ご存じですか？ 相続土地国庫帰属制度

相続または相続人への遺贈により土地を取得したものの、「遠くに住んでいて利用する予定がない」、「周りに迷惑がからないようにきちん和管理するのは経済的な負担が大きい」などの理由で土地を手放したいとき、その土地を国に引き渡すことができる「相続土地国庫帰属制度」という制度があります。

制度の利用には審査手数料および負担金の納付が必要です。また、国が引き取ることができる土地について、一定の要件があります。

◆お問い合わせ先

釧路地方法務局北見支局
Tel 0158-23-6166



釧路地方法務局
ホームページ



釧路地方法務局
ホームページ

財務専門官採用試験

財務局では財政・金融のプロフェッショナルとして活躍する令和8年4月採用の財務専門官を募集しています。

◆インターネット受付期間
令和7年3月24日（月）まで

◆お問い合わせ先
北海道財務局人事課
Tel011-709-2311



国家公務員試験
採用情報NAVI

海上保安官採用試験（大卒）

海上保安庁では令和8年4月採用の海上保安官を募集しています。

◆インターネット受付期間
令和7年3月24日（月）まで

◆お問い合わせ先
紋別海上保安部管理課
Tel0158-23-0118



海上保安庁
採用サイト

パブリックコメント（意見募集）の結果を公表した政策案

政策名称	募集期間	意見の提出数
「錦研修センター」と「錦寿の家」の統合について	1/10～2/10	なし
「湧別町国民保護計画」の修正案について	1/10～2/10	なし
「湧別町地域防災計画」および「湧別町水防計画」の修正案について	1/10～2/10	なし
「新町まちづくりビジョン（新町基本計画）」の変更について	1/17～2/19	なし

ごえんせい
誤嚥性肺炎を予防しましょう



「誤嚥」とは飲食物が食道ではなく気管に入ってしまうことをいいます。これにより、飲食物や唾液に含まれる細菌が肺に入り起こる肺炎を、誤嚥性肺炎といいます。

症状は、発熱、咳、濃い色の痰、食欲不振、全身のだるさなどが見られます。高齢者の場合、熱や咳が出ないこともあるので注意が必要です。

原因

・飲み込む機能の低下

高齢になると、喉の筋力が衰えてきます。飲み込むことや、むせることが難しくなると誤嚥する危険性が高まります。

・口の中の清潔が保たれていない

口の中がキレイに保たれていないと、誤嚥により唾液や食物とともに細菌が気管に入り、肺炎を引き起こすことがあります。

・体力や免疫力の低下

体力や免疫力が低下すると肺炎など感染症にかかりやすくなります。

予防方法

①口や喉の筋肉をトレーニング

口や喉のまわりの筋肉をトレーニングすることで、飲み込む力がつくため、誤嚥を予防することができます。

②歯みがきをする

歯みがきにより、誤嚥性肺炎の原因となる細菌を減らし、肺炎のリスクを下げるすることができます。

③十分な睡眠をとる

睡眠不足になると免疫力が低下します。十分な睡眠をとり、規則正しい生活を心がけましょう。

喉の筋カトレーニング～「パタカラ体操」～

①唇を閉じて「パ・パ・パ・パ」と発音する。

②舌を上あごにしっかりと付け、「タ・タ・タ・タ」

③喉の奥に力を入れ、「カ・カ・カ・カ」

④舌先を上の前歯の裏側につけて「ラ・ラ・ラ・ラ」

⑤最後に「パ・タ・カ・ラ」と発音する。

10回を1セットとして1日3セットを目安に行いましょう。

～ヘルシースプーン会の缶詰を使った簡単レシピ～

野菜も食べられるおかず

ねぎとしめじのさば味噌煮炒め



1人分 *エネルギー：207kcal *塩分：1.0g

材料（2人分）

- さば味噌煮缶 … 1缶 (150g)
- ねぎ … 1本
- しめじ … 1袋
- オリーブオイル … 小さじ1杯
- 塩 … 適量
- こしょう … 適量

作り方

- ①切る
 - ・ねぎは斜め切り、しめじは石づきを切ってほぐします。
- ②炒める
 - ・フライパンにオリーブオイルを熱し、弱火でねぎ、しめじを炒めます。
 - ・火が通ったらさば味噌煮缶を加え、よく混ぜます。
 - ・お好みに合わせて塩こしょうで味付けます。

しめじの代わりに、まいたけやエリンギなどでも代用できます。



ヘルシースプーン会事務局：健康こども課

その他のレシピはこちら





は～い 元気です!!

3月生まれ(1歳)

令和6年生まれの1歳になったお子さんを対象に掲載しています。
(写真：保護者提供)



かんた
田中 環汰ちゃん
令和6年3月15日生まれ
「毎日やんちゃに遊び
まわって大きくなってね」
佑弥・愛子



せな
大嶺 瀬凧ちゃん
令和6年3月31日生まれ
「食べるの大好き！
人も大好き！」
新史・葉

文化センターTOM周辺の **活性化** に向けて

～町民ワークショップを開催～

2月12日に「第2回未来づくり町民ワークショップ」を開催しました。このワークショップは、“文化センターTOM周辺の一体的な活性化”に向けて、町民の方々からのご意見やアイデアを今後の施策の参考とさせていただくために開催したもので、昨年9月に続き第2回目となります。

当日は町内の事業所や団体などに所属する20代から40代の方を中心に、高校生を含む22人が参加。講師としてお招きした、地域力創造アドバイザーの(株)47partnersの横尾代表取締役から、他市町村での事例紹介の後に、グループごとに「どんな機能が欲しいか」「得られる効果」などについてディスカッションを行いました。

町では、今後も町民の皆さんがまちづくりに参加できる場を設けていきます。



<グループワークで出されたアイデア> (一部抜粋)

▼TOMを拠点としたエリア

- ・総合体育館からトレーニングジムを移転させる
- ・新たにスタッフを採用し図書館にカフェの機能を持たせ集いの場にする
- ・日本語が堪能な外国の方に協力いただき日本語教室を設ける
- ・農家や漁師のためにアルバイト求人コーナーを設ける

▼飲食店・宿泊施設を拠点としたエリア

- ・屋台村で湧別高校生による模擬店を行う
- ・コインランドリー内にカフェスペースや室内遊具を設置
- ・ホテル宿泊者に対し町内で利用できる割引券を交付
- ・エリアまでの無人バスを運行

▼チューリップ温泉を拠点としたエリア

- ・ハンモックや漫画コーナー、天体観測などができる休憩スペースを整備
- ・乳幼児がいるファミリーがゆっくりとできる個室スペースを整備
- ・サウナが苦手な方でも楽しめるように岩盤浴を整備
- ・温泉施設内に仮眠スペースの設置や、近くの中湧別駅舎を改修し宿泊施設にする

▼百年記念公園を拠点としたエリア

- ・BBQ場に農協や漁協などから直送された新鮮な野菜や海産物の販売所を設ける
- ・子ども用のアスレチック付近に子どもを見守ることができるスペースや、駄菓子屋を設けることで長時間の滞在を促す
- ・友好都市であるカナダのホワイトコート町のようなダウントウン（商店）や家族で楽しめるミニゴルフ場を整備



各グループからの発表が行われ、横尾さんから「極端な設備投資を行わなくとも、皆さんで知恵を出し合えばまちづくりはできます。このワークショップを機会に、もっとまちなかを観察していただければ」とあいさつがありました

この広報紙は町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色を基調としています。